

●今月の法語カレンダー●
念仏者は無碍の一道なり

今月の法語は、『歎異抄』の中の言葉です。「歎異抄」は、親鸞聖人の弟子・常陸の国の唯円房が書き残したものです。「念仏者は、なにもものにもさまたげられないただひとすじの道をあゆむものです」と示されます。「無碍」とは、阿弥陀さまの智慧のはたらきを光にたとえてあらわし、「さわりが無い」「へだてがない」という意味です。さまざまなことにも悩み苦しみながらある人生ですが、お念仏を申す私たちには、試練から逃げず、乗り越え、さらに進む力をいただける力強い法語です。

9月の行事

- 朝の日曜礼拝 午前7時
お参り・御文章・7分法話
7/14/21/28日
- 秋季彼岸法要
23日(火) 午後1時半
- 【講師】
松林宗恵師(映画監督)
- ご家族揃ってお参り下さい
- 納骨堂合同参拝
6日(土) 午前10時

秋季彼岸法要のご案内

秋のお彼岸を迎えます。お彼岸は日本独自の仏教行事で、春分の日と秋分の日の前後一週間をいいます。ぜひ仏さまのお話を聞かせていただき、お法りに照らされた自らの生活を省みるご縁といたしましょう。皆さまのご参詣をお待ちしております。

9月23日(火) 秋分の日 午後1時半～3時半

【講師】
松林宗恵師(映画監督)



1920(大正9)年、島根県の浄土真宗福泉寺の五男として生まれました。龍谷大学を卒業後、日本大学芸術学部に入り、在学中に東宝の助監督の試験に合格しましたが、44(昭19)年、海軍応召。復員後、戦争で死んでいった友への思いを込め、戦争映画の傑作『人間魚雷回天』や『世界大戦争』を監督しました。森繁久彌さんと組んだ「社長」シリーズなど70本の映画を製作し、2004(平成16)年には郷里に記念館もオープンしました。

- 婦人会
10日(水) 午後1時半
- 仏教讃歌をしよう♪
27日(土) 午後3時
- 壮年会
30日(火) 午前9時
- ご協力をお願い致します
- 雅楽教室
28日(日) 午後3時
- 興味のある方はぜひどうぞ

10月の行事

- 仏教講座会 20日(月)
- 納骨堂合同参拝 4日(土)
- 婦人会 14日(火)
- 壮年会 25日(土)
- ボラン寺 30日(木)
- 雅楽教室 19日(日)
- ヨーガ教室 8/22日

「仏教讃歌」を
楽しもう♪

お盆にお配りしました、寺基移転20周年記念CD「仏教讃歌20」はお手元に届きましたか。
この度は大変有り難いご縁となりました。ぜひ美しい



い仏教讃歌を、素敵な歌声と演奏で楽しんでいただきたく願っております。

今月の婦人会では、CD作成をして下さった、門信徒の竹内恵里さん(常盤平)と、お母様の高森篤子さんに、仏教讃歌をご指導いただくこととなりました。どなたでもご自由にご参加いただけます。(婦人会員に限りません、お気軽にどうぞ。)ぜひ一緒に仏教讃歌を楽しみましょう♪



【日時】

9月10日(水)
午後1時半～3時半

【持ちもの】

CDに付いている歌詞カード
(歌集として使います)



竹、篤さんと高森篤子さんの指導
ご内恵里お母さん。

ある日、いつものように定時で終わって、みんながぞろぞろスタジオを退出していく中、明日の第一カットはどこから撮ろうかと監督室の椅子に座って考えていたのです。ステージには外光は一切入らないから、真暗です。
ふと、撮影用のライト全部消してあるのに、みんなが足元にも不自由せず無事に外に出ていくのはどうしてかなと思いましたが、それで天井を見ると、高い場所にほんのりランプがついていて、かすかに人の足元を照らしていた。それはスタジオの常夜灯でした。そこで「ああ、これだ、この常夜灯は仏の光なんだ」と気づいたのです。

私たち人間が生きていく間は、スタジオの撮影と同じように大小のライトが照らしてくれている

親鸞聖人が八百年前昔に書かれた經典の中に、「煩惱障眼雖不見大悲無倦常照我」という言葉があります。(『正信偈』)煩惱に眼をさえぎられて仏の光が見えなくても、仏の光である大悲は倦くことなく絶えず私を照らしてくれている、という意味です。撮影現場という娑婆(あやふし)の多い俗世界の中で、そういう、仏教の深い知恵を味わわせてもらえるのも僧侶の身の幸せだな、と感じたものです。

(『ラジオ深夜便』こころの時代) 掲載「僧侶・海軍士官・映画監督を生きて」より

「仏教壮年会」に参加しませんか

この春からスタートしたばかり、出来たてホヤホヤの「仏教壮年会」です。

親鸞聖人のみ教えを聞かせていただき、一緒に集う仲間を作りましょう。どなたでもどうぞ。ぜひ一度ご参加下さい。

【今月のご案内】

9月27日(土)

午後3時〜5時

今月から『朋友』―浄土真宗入門のてびき―を中心に学びを始めます。(入会者には差し上げております)



お盆法要が 勤まりました

おかげさまで、今年も多くのご門徒の皆さまにお参りいただき、無事に法要が勤まりました。

お盆はご先祖を思い、親戚・家族が集まる時期だからこそ、縦に横にと無尽につなご縁の深さを思わせていただきます。先月の門前の掲示板には、「この日の時 この場所が 私のすべて」と書かれていました。今に感謝する生き方を、ご講師の北畠先生よりも、聞かせていただきました。

暑い中
をお手伝い
下さった
役員の方
々には、
日本当
に有り難
うござい



天真寺の夏

「夏休み子ども会」

約20年ぶりになる子ども集いが開かれ、総勢35人で、夏の一日を楽しみました。



「天真寺の夏の思い出」

8月9日午後1時より、「夏休み子ども会」が天真寺にて行われました。参加者はゆりかごの赤ちゃんから、ヨチヨチ歩きの子供、小学生のお兄ちゃんお姉ちゃん、大きなお兄さん方も参加し、賑やかで楽しい一日になりました。

1時よりお経『らいはいのうた』でお参りし、お念仏を称え、小さな手を合わせて合掌しました。次に野外学習で自然に親しむ意味も含めて、自作農園やお馬さんを見学しました。3時より「ウエスタンマ

ました。また駐車場が混雑しました。ご迷惑をおかけしました。

お寺でボランティア

「みんなで布チヨッキン」 「協力ありがとう」ございました

今年で3回目になる「お寺でボランティア」企画、「みんな布チヨッキン」が無事終わりました。



今回はお人形13体、ボール17個が仕上がりました。スタッフの方にも、「皆さん慣れてきて、作業が早いですね」とお褒めの言葉をいただきました。

また当日の寄付金、募金箱の寄付金、天真寺からの寄付金を合わせて、合計5万円をお渡ししました。

「支援は続けることが力

ジッククラブ」による手品を見せていただきました。みんな大喜びで、中には、「玉子からうさちゃんを出して」との難問もあり、手品師のお姉さんを困らせた一場面もあり、大笑いしました。



その後は、素晴らしい企画で、今年の春より天真寺に農園ができ、そこで野菜を収穫してのバーベキューパーティーを開くことでした。トマト・きゅうり・なす・枝豆・にんじん・ゴーヤなどなど…。スイカ割り始まり、子どもたちは農園を走り回り、門信徒の皆さまは、バーベキューを焼いたり、カレーライスを作ったりとお手伝いをしながら、そよ風に吹かれて、ビールをご馳走になり、楽しかったです。ファイナレは夜空に花火を打ち上げ、ワァーと歓声を

です！」来年も皆さんのご協力をいただき、また企画したく思います。ご参加下さった方々、またお気持ちを送らせて下さった方々、ありがとうございました。

開園5周年を迎えます

婦人会が設立前より支援を続けている「るんぴに園」。開園5周年のうれしい報告です。



「子ども心理療育施設『るんぴに学園』(京都綾部市)が開園5周年を迎え、記念講演会が開かれました。心因性の不登校や被害者などによる軽度の情緒障害を持つ子どもたちが短期間入所し、心理治療などを行い、家庭や地域で安定した生活を送れるようにする施設で、5年間で61人の児童を受け入れてきました。藤大慶理事長(本派西福寺前住職)は、「子どもたちが抱える大きな悩みを、職

のもと、終了いたしました。盛り沢山の楽しい一日は、子どもたちにとつて、忘れることのできない夏の思い出の1ページになることでしょう。

このように楽しい一日を過ごすことができましたのも、天真寺の大変なご努力と、壮年会・婦人会の皆さまのご協力がありましたことと、参加者の一人として感動いたしました。来年も、よりすばらしい「夏休み子ども会」が催されますこと期待しております。

(常盤平 鶴丸延子さん)



一日ありがとうございました！

員そして地域の人たちが寄り添い、共感してくださり、それが子どもたちの生きる気力となつている」と話されました。『本願寺新報』

天ちゃんの一言

先月末、天真寺



が「頑張つて活動をしているお寺」に選ばれ、京都にある浄土真宗「教学伝道研究センター」から取材をしていただきました。

門信徒会入会のご案内

どなたでも入会いただけます。毎月、寺報と仏教冊子をお送りします。年会費3千円。「寺友」の輪を広げませんか。

(発行元)

浄土真宗本願寺派 天真寺

千葉県松戸市金ヶ作106

047-389-0808

【ホームページ】

<http://www.tenshi.or.jp/>